



あなたを待っている子どもたちのために

第3回 「魅力ある学級づくりを目指して」「養護教諭になること①」

令和4年12月14日(水)発行 仙台市教育委員会 教育センター 若手教員支援室

子どもたちの笑顔のために ～第3回プレゼミナール～

第3回のテーマは「魅力ある学級づくりを目指して」でした。全8回の中で参加希望者数が一番多く、それだけに受講される方々にとっては関心が高いと同時に「学級経営」等に不安を抱えている方も多いのではないかととらえています。しかしながら、当日体調不良等で欠席する方も多く、参加者は、遠隔地在住等によるオンライン参加を含め68名でした。また、今回は養護教諭対象とした「養護教諭になること①」を同時開催しました。参加者は、オンライン参加を含め5名でした。

「魅力ある学級づくりを目指して」

1 「学級経営のポイント・リレーシヨンの実際」

仙台市では、学級経営を充実させるポイントとして、「児童生徒理解」「信頼関係づくり」「集団づくり」「授業づくり」の4つを掲げています。今回はそれぞれの押さえておくべきことを、演習を通して学びました。後半は、この中の「集団づくり」について、リレーシヨン（親和的な交わり）を体験することを通して学びを深めていきました。プレゼミナールでは、その他のポイントについては、他の回にて詳しく学ぶこととしています。



2 「学級開きの準備と実際」



赴任から子どもたちと出会うまでの準備や、学級開きの実際、そして、4月初めの学級経営のポイント等について、現場の先生から学びました。学級担任の先生から直に話を聞くことで、子どもたちや学校の様子のイメージをより具体的に持つことができました。

〈受講者の声〉

○これまで様々なセミナーに参加をさせていただいたが、そこでは教員の魅力ややりがいといったものを教えていただく機会が多かった。しかし、今回は4月になってからの予定や、一年の中でもとても重要となってくる学級開きのポイントや重要なことについて教えていただくことができたため、これまでにない学びを得ることができた。

○構成的グループエンカウンターでは、とても面白いゲームだなと思いました。大人が楽しんでいたので、子どもたちはもっと楽しいと思ってくれるだろうなと思いました。また、上手な断り方は、自分が教員になった時に必ず指導したいと思いました。何でも引き受けてしまう子供はたくさんいると思います。実際、私もなかなか断れない性格なので、一度全体で上手な断り方を学び、実際に応用してこれから人間関係の際に役立ててほしいと思いました。後半のグループでの講義は特に勉強になりました。いつから赴任先の学校に行くのか、学級開きが始まる前まではどんなことをするのか、といった具体的に説明していたので、4月の自分のすべき動きが見えてきました。その分、とても緊張の気持ちが高まりましたが今からそれに向けてできることを少しずつやっていきたいと思いました。





○教員は、とても魅力のある仕事であることを改めて認識することができました。子供たちの心を育てていくための構成的グループエンカウンターやソーシャルスキルトレーニングの方法もいくつか知ることができ、実際に使ってみようと思いました。また、赴任してからの流れや学級開きの実際を知ることができてよかったです。赴任してからの流れや学級開きの準備・方法が全く分からないまま4月に現場に出たため、この時期から現場の実際について知れたり仲間と意見や不安を共有したりする機会を設けていただけて、とても助かりました。

○今日初めて会場で受講でき、先生方に自分で直接質問できたことがとても良かった。また会場参加だったからこそ新しく話せる人が増えて、情報交換が活発にできて良かった。

○学級経営について、自分自身でも良く考えていたが、具体的にどんなことを行えば良いか曖昧だった。しかし、話を聞いて、信頼関係の作り方や学級開きで行うこと等多くのことを学ぶことができた。さらに、実際に現場で働いている先生のお話を聞き、4月からの具体的な行動、大切なことを聞くことができた。

○実際に自分が担任だったらという視点で話を聞き、難しいなと考えながらも4月から始まる教員生活をより具体的にイメージすることができた。また、現職の先生のお話を聞いて、赴任してから子どもたちと出会うまで何をしたらよいのか、子どもたちと会ってから信頼関係を築いたり自分を知ってもらったりするために何をしたら良いのだろうとずっと不安だったが、周りの先生に聞けばいいんだということを知って安心した。ペアワークやリレーションを通してたくさんの人と関わることができて不安が一人ではないこと、新しいやり方やアプローチの仕方を知れて、今回もとても充実した時間となった。ありがとうございました。



○プレゼミナール3回目にしてようやく色々な同期と話すことができ情報交換もできた。来年のプレゼミナールでも多くの同期と交流し4月から共に働く仲間として頑張れるようにしたい。

○着任後、学級担任として子どもたちを迎え、子どもたちと共に過ごしている自分の姿をイメージしながら講義を受けることができました。実際の学校現場では授業準備以外にも様々な仕事の数多くあって、その中でやるべきことの優先順位をしっかりと定め計画的・効率的に仕事を進めていくことで、子どもと関わる時間をしっかりと確保することができ、そのことが子どもとの信頼関係や望ましい学級集団の構築の実現につながるのだと感じました。また、学級開きの際には今回の講義で体験したようなアイスブレイクを行い、子どもたちの緊張感や不安感を解きほぐし、子どもたちが楽しく安心した気持ちで新学期のスタートを切るよう、新学期の準備をしていきたいなと思いました。

「養護教諭になること①」

1 「保健室の1年」

養護教諭として保健室経営の1日や1年の「見通し」について学びました。少人数の講座であることを生かし、対話的な学びにより、より細かく、より具体的なイメージを持つことができました。

〈受講者の声〉

○現在、他県の高校で働いており、4月から仙台市で採用になるにあたって、校種の違いや自治体のルールの違いに大変、不安を抱えていました。今回参加させていただき、何に対しても丁寧に詳しくお話されている先生方を見て、とても安心することができました。

○とても話しやすい雰囲気の中で、養護教諭として働く上で不安なことや疑問に思うことを質問することができました。また、学校現場の状況を具体的に知ることができ、働くイメージを少しずつ持てるようになりました。ありがとうございました。



プレゼミナール参加希望者総数が101名となりました。第4回「仙台市の先生になること」は、年明けの令和5年1月14日（土）開催予定です。